

『台湾防災教育代表団』の受入れを行いました(2019/10/3)

テーマ：学校安全，防災教育，防災教育国際協働センター
場所：災害科学国際研究所多目的ホール

2019年10月3日（木），『台湾防災教育代表団』として，台湾教育部資訊及科技教育司の劉文恵副司長を団長とする28名の訪問団の受入れを行いました。訪問団の関心事が災害科学国際研究所 防災教育国際協働センターとその活動であったことから，センター長の佐藤健教授（情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野）および副センター長の桜井愛子准教授（東洋英和女学院大学）が講演を行いました。

桜井愛子准教授からは，防災教育国際協働センターが設立された経緯や，第3回国連防災世界会議において採択された仙台宣言などが紹介された後，石巻市が取り組んでいる「学校安全推進会議」や「復興・防災マップづくり」の活動についても紹介されました。

佐藤健教授は，「学校・家庭・地域の協働による学校防災の推進モデル～Community School (CS)とSafety Promotion School (SPS)の紹介～」を演題とした講演を行いました。CSで積極的に防災教育に取り組む学校や，SPSの学校は現時点でそれほど多いとは言えないものの，CSやSPSの枠組みを活用した学校と家庭・地域とが協働した防災活動のロールモデルから，持続可能な防災活動の多くのヒントを学ぶことができると述べました。

1999年台湾集集地震の後、学校での防災教育の充実を図ってきている台湾教育部関係者らと，東日本大震災の後，日本で展開されている防災教育についての交流を行うことができました。



劉文恵副司長のあいさつ



交流会場の様子



集合記念写真

文責：佐藤 健（情報管理・社会連携部門）